

中津川市とバローHD連携

地方創生へ包括協定

中津川市とバローホールディングス(HD)は22日、子育て・教育支援、健康・福祉など多分野にわたって、地方創生の実現に資することを目的とした包括連携協定を結んだ。

同社は県内のほか愛知、

富山県内の自治体と協定を結んでおり、県内の自治体では県を含めて9自治体となる。協定では、家庭など



協定を結んだバローホールディングスの小池孝幸社長(左)と小栗仁志市長＝中津川市役所

で余った食品を集める「フードドライブ」を活用した地域の子ども食堂などへの支援、健康や防災、子ども向けのイベントなどの開催を進める。また各自治体が熱中症予防として、暑さを一時的にしのげるよう冷房が効いた部屋を開放

する「クーリングシェルター」について、市内に13あるバローグループ傘下の店舗のパブリックスペースを指定するなど連携を強化する。

同日、市役所で行われた締結式では、小栗仁志市長とバローHDの小池孝幸社長が署名を交わした。小栗市長は「両者でさまざまな知恵を出し合い、地域の課題に対して、これまで市単独ではできなかったアクションを起こしたい」と話した。小池社長は「地域にバローグループの店があつて良かったと思うてもらえる活動を展開していく」と述べた。

(富樫一平)